

学生レポ! 私 も 広大です

全ての従業員が志を一つに 小さくとも光るホテルを目指す

私が社長・総支配人を務める東京第一ホテル松山は、愛媛県松山市で有数のシティーホテルです。122室の客室と直営レストラン2店舗、宴会場を擁しており、宿泊のみならず結婚式や同窓会などさまざまなシーンでご利用いただいています。過去には、皇族やプロ野球選手などにもお泊りいただきました。当ホテルは、父が事業多角化に当たり、ホテル経営に乗り出したことが始まり。もともと家業を継ぐつもりでしたので、父に背中を押されてこの道に入りました。

仕事のモットーは「初心忘るべからず」。サービス業であるホテルの仕事は24時間365日休みがありません。最初の情熱や気付きを忘れないよう肝に銘じ、常に新鮮な気持ちで取り組んでいます。迷ったときは、武者小路実篤の「この道より我を生かす道なし この道を歩く」という名言に従い、振り返らずに自分を信じて前向きに進むように心がけています。

人の上に立つ立場ではありますが、ホテルの仕事全てを私が管理することは困難です。全従業員に心を込めて上質なサービスを提供してもらうために、「意見を聞く」ことを大切にしています。職種や役職などの立場によりさまざまな見解があるため、私が状況を把握し意見調整をすることで、全員が志を同じくして働ける職場を目指します。

ホテルは装置産業とも言われ、時代の変化とともに最新設備が求められます。アフターコロナの時代では、新しい生活様式の中でお客様に満足していただけるホテルであることが大事。設備投資を進め、心の込もったより良いサービスをお届けすることで、小さくとも光るものがある“プチラグジュアリー”なホテルに進化していきます。

好きなことに一心不乱に取り組んだ経験が 人生の自信につながった

広島大学在学中は、ヨット部の活動に力を入れていました。4年生の夏休みに、クルーザーで沖縄まで1カ月にわたる航海に挑戦。部として初めてのことで、簡単そうに聞こえるかもしれませんが、小型船舶操縦士免許など幾つもの資格を取得したり、社会人と共に航海術を磨いたり、道のりは険しいものでした。さまざまな人に出会い、困難を乗り越えた末に達成したこの航海は、私の人生の宝となっています。

後輩の皆さんには、「学生生活に失敗はない。好きだと思えることを見つけ、徹底的に取り組むことが大切だ」と伝えたいですね。それが後々人生の糧となり、自信につながります。また、広島大学は中四国ナンバーワンの大学。最近では「私も広大生です」と、声を掛けていただくことが増えました。母校に誇りを持ち、もっと卒業生のネットワークを広げていきたいと思っています。

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されているOB・OGの方々に学生がインタビュー。現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。

工学部 出身

野村 忠秀 さん

東京第一ホテル松山 社長・総支配人

のむら・ただひで / 広島大学工学部
四類(建築系)船舶工学1983年卒業。トヨタ自動車株式会社に入社し、1986年に退社。同年、東京第一ホテル松山の運営会社である八紘開発株式会社を設立し、専務取締役就任。1995年より総支配人を兼務。2006年に代表取締役兼総支配人に就任し、現在に至る。

広島大学ヨット部から還暦祝いに贈られたキャップ。



Report 学生広報ディレクター

何か一つ、他人に負けない分野において一生懸命やり遂げることは、何年たってもその人の支えとなり、かけがえのない学びを与えてくれると分かりました。そして、人と人のつながりは何よりも大切で、人生において一番の財産になるということに感銘を受けました。私も実りある大学生活を送ろうと思います。

経済学部2年 岸本 彩楓 さん



大学院総合科学研究科博士課程修了。中国新聞社(広島市)に入社、福山市の俳句本
社で主に警察担当。



・裁判
本社の
担当。

社芸問題の解決に...

現在、新聞記者として取材と執筆
故を取材するだけでなく、町の
記事として発信しています。

題を抱える...

になっ

利

時

なり
害の被
した。災害
もと、それら
も今の仕事に就

助成を活用 が今に生きる

会があれば、国内外を問わず訪問
と話し、視野を広げよう意識していま
があることは何でもチャレンジしましたね。
で被災地への旅、1年間のイギリスへの留学
ンターシップ、社会人と一緒にビジネスを考える
産学連携のEDGE(ひろしまアントレプレナープログ
ラム)への参加、マレーシア熱帯雨林調査、SDGs関
連の活動でインド訪問、東広島市福富町のまちづくり
サークルでの活動など、挙げればきりがありません。

広大には留学や起業のための多彩なプログラムや
助成制度があり、学生を支援してくれます。私もさま
ざまな機会に活用させていただきました。チャレンジ
したことが今に生きているので、後輩の皆さんには積

Report

学生広報ディレクター

取材をさせていただ
けると気さくに再
なと大学時代
現在につ
話も
方との関係を大切に

総合科学部2年 藤岡 早 さん

(商工学部2年 藤岡 早 さん)

